支倉常長フェロー報告書

Global COE Network Medicine

提出日 2010 年 7月 5日

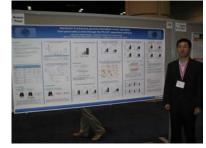
申	請	者	氏 名 今井 淳太
	百月		所属・職 糖尿病代謝科・講師
出	張 期	間	2010年 6 月 24 日 ~ 7 月 1 日
渡	航	先	アメリカ フロリダ州 オーランド
渡	航 目	的(学会参加・共同研究のための留学・()
発表演題名あるいは			Interleukin-6 Enhances Glucose-Stimulated Insulin
共同研究課題名			Secretion from Pancreatic β -cells through the
光 问 训 九 床 趣 石			PLC-IP ₃ -Dependent Pathway

2010年6月25日から6月29日にかけてアメリカ・フロリダ州・オーランドのオレンジカントリーコンベンションセンターにて行われた第70回アメリカ糖尿病学会(ADA)に参加した。

インターロイキン 6 (IL-6)の膵 8 細胞からのインスリン分泌における作用については、これまで相反する報告がなされるなど明らかでない点が多かったが、今回我々は、IL-6 が in vivo, ex vivo, in vitro いずれの系においてもグルコース応答性インスリン分泌を亢進することを証明し、さらにそのインスリン分泌増強作用はフォスフォリパーゼ C (PLC)経

路を介していることを世界で初めて明らか にして報告した。

演題はポスター発表での採択であったが、 ポスター発表演題の中でさらに Guided Audio Poster Tours の演題に採択された (写真)。これはヘッドホンを装着した Tour



への参加者に対して、マイクを使用して5分程度で自分の演題についてのプレゼンテーションを行い、さらに座長と演題についてのdiscussionを行うというものである。このdiscussionの場において、海外や日本の研究者数名から大変興味深い研究結果である旨、実験手法についてもよく検討されており、結果は信頼できるものであると思う旨のコメントをいただいた。またこの結果の生理的な意義についての考察を求められ、肥満状態における高インスリン血症への関与の可能性などについて議論を行った。英語の修練にもなり、大変刺激的で有意義な学会参加となったと考える。

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。 HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。